

ねぢむめ

笑わらわんせそしらんせ秋あき咲なぐ

梅むめがあるならば梅玉はいぎよく二度と

出でやせまひといふたとてきかした

てゝいろ／＼團うちわで吹風ふくの扇あふぎに

こまつてあつかましあせと恥はぢとの

かき秋からまた出るわけをせめて

まあちつと手をつけ節ふしつけて

此三味線さみせんで哥うた合あすらん